

2008年度日中建協主催訪中視察団派遣（西安、上海、蘇州）

期 間：2008年10月26日（日）～ 31日（金）

訪問先：西安 ～ 蘇州 ～ 上海

目 的：① 2007年度実施の『中国住宅事情調査・西安編』の現地視察
② 中国分科会（中国賛助会員）との第三回日・中合同会議開催

参加者：会員企業及び関係者14名

視察概要

10/26（日） 北京経由西安へ出発

- ① 訪中視察団一行は、早朝より成田空港（今井会長は関西空港より）から北京空港へ向かい、先発の高井部会長と合流し、西安空港に夕刻到着した。

10/27（月）設計院交流会、住宅調査現地フォロー、その他市内視察

- ① 西北設計院では、楊徳才氏（電気設計所所長／院副総工程師）の出迎えを受け、屈培青氏（院副総工程師／第七設計所総建築士）等と交流会を実施した。当初は一時間の予定であったが、
- ② 道中に車窓から広大な住宅団地（18社のデベロッパーが開発中）などを視察しました。
- ③ 東京から北京経由で早朝に西安入りした WAS デザインの天野真社長、同社合弁先の西安天陸局景観規画設計有限公司の楊傑総経理（安于右紀念館で合流）の案内で、『大唐芙蓉園』及び近隣にある WAS デザインの設計した広大な景観計画の現場を視察しました。

10/28（火）兵馬俑と西安市内の視察のあと、空路上海・浦東空港へ

- ① 約一時間、車で西安の街並みを通り抜け、郊外にある兵馬俑を視察しました。今井会長以下、団員の皆様は二千数百年前の遺跡に見入り、お互いに記念写真を撮っていました。
- ② 西安では、西安名物の餃子料理や刀傷面（うどん？）料理を楽しみました。レストランではいきなり『紹興酒』の掛け声もありましたが、この地域では北京と同様にお酒は『白酒（バイジュー）』が主流でした。西安入りした翌日から、地元では珍しく小雨が降り続けました。
- ③ 上海・浦東空港到着後、出迎えのバスで大渋滞の中を通り抜け、夕食会場へ向かいました。レストランで上海から参加の成田様と合流しました。

10/29（水）バスで蘇州へ

- ① ホテルで中国分科会・上海世話役の楨本様、閻勤様と合流し、蘇通大橋（世界最長の張大橋 ≒36km）へと向かいました。日本の旅行社と中国の旅行社（西安の旅行社経由で上海の旅行社が段取り＝帰国後判明）の調整不足？か、張大橋が何本もあるとかで事務局も困り果てました。それと思しき大橋を視察し、バスは雨の中を蘇州市内へと向かいました。
- ② 大和ハウス工業（現地・独資会社）が開発中の現場へと向かい、開発地域を視察しました。

10/30（木）上海にて森ビル視察、日・中合同会議、など

- ① 中国最大の設計事務所の現代建築設計集団・上海建築設計研究院有限公司へと向かいました。日系現地法人や中方現地法人でも中々面談できない筈であり、北京からも同行の申出をいただいていた。



上海建築設計研究院交流会議



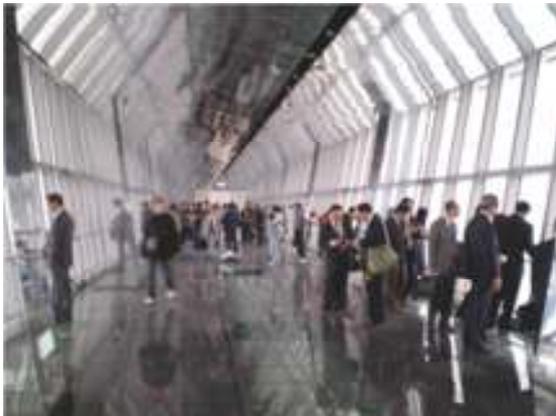
JCBH 第三回日中合同会議

② 上海建築設計研究院交流会議

主な面談者；張行健氏（副総建築師、日本・竹中工務店にも半年留学）、庄峻氏（経営策企
部客戸主任）、陸紅花女士（総経理助理）、李加平氏（海外事業部行政経理）、
張爾氏（海外事業部業務経理助理）、他

JCBH 側；訪中視察団一行 11 名＋中国賛助会員 6 名

③ JCBH 第三回 日・中合同会議（場所：上海環球金融中心＝上海森ビル＝五階会議室）



上海・森ビル視察（100 階の展望台）



外灘を望む小南国での大懇親会

10/31（土）上海市内観光～帰国の途へ

① まずは、上海の旬の観光スポット「新天地」へまいりました。

もとの倉庫の内部をブティック・バー・レストラン等にリフォームしたり、モダンな建築物
が混在する街並みはまさにヨーロッパの瀟洒な町に迷い込んだ感覚になりました。

② 次におなじみの観光スポット、外灘（バンド）へまいりました。しかし、小雨のそぼふる天
気で黄浦江の向こう側は真っ白！肉眼ではかすかに見えるものの、撮影すると何も写ってな
い状況でした。昨日がなんとラッキーだったのかとあらためて感じた次第です。

（A. H記）

2008 年訪中視察団報告の詳細は、会報誌「日中建築住宅情報」No.176 10・11 月号に掲載しています。